

# あなたのそばで 夢みる数字新聞

## 特集 「野球」

日本の選手が大活躍したワールドベースボールクラシック(WBC)の影響もあってか、いま、小学生の将来の夢ランキング(第一位)は「野球選手」。そこで、今回のテーマは、ずばり「野球」！国民的なスポーツをとおして、夢や目標、そして、健康などについても考えていただけたら幸いです。

### インタビュー

#### プロ野球選手 工藤公康さん

現役選手として、さまざまな最年長記録を更新しつづけている、横浜ベイスターズの工藤投手。野球のことや夢のこと、子どもたちへの想いをうかがいました！

子どもの頃は、どんな夢をお持ちでしたか？

僕はですね、自分の家庭が貧しかったので、塾に行ったこともないし、ものを買ってもらうこともなかった。毎日を生きて行くのに一杯。だから、将来はこうなりたいと夢を描くことがなく、現実的でした。中学を卒業するとき、野球の特待生として入るなら高校に進学させてもらえらうという状況だったので、嫌いだっただけです。でも、野球を選んだ。そういうこともあって、いま、自分の子どもには、行きたいほうへ進んでいきなさい、やりたいことをやりなさい、と言っています。

お子さまもスポーツをされているそうですね。

自分の好きな競技を見つけてやりなさい、と。スポーツをやると友達ができますよね。団体競技であればチームの輪が必要で、オレがオレが、じゃなくて調和が大切

なんだよ、とか、社会に出る前に学んでもいいことがたくさんあると思います。僕が考えているのは、それでプロになってほしいとか、大成してほしいという

ことじゃない。じゃうぶな身体を作りたいんです。健康であれば、大変なことがあってもなんとかが乗り越えていける。

身体づくりが大切なんですね。

将来、自分の好きなことをやっていくために、強い身体をつくる。あとは人間の能力ってどこで開花するかわからないから、その「きっかけ」だけは子どもたちに与えてあげられるような親でいたいと思います。そして、結果が出る出ないにかかわらず、子どもが一生懸命やっている姿は、認めてあげる。中学三年だったらこうだったよな、とか自分の経験と重ね合わせながら話をします。スポーツはコミュニケーションをとります。

あるかもしれません。

多忙な中、全国の少年野球のチームをまわって、野球教室もされています。

野球が好きで子どもたちのキラキラしている目を見て、一緒に野球をやっていると楽しいですね。ただ、僕としては、スポーツを上手になってほしいということではなく、子どもの健康を考えたい。たまに、どんなサプリメントを摂るといいんですか？って聞いてくる子どもがいるんですよ(笑)。栄養は食事で摂ることがまず、大切な。そういうことも含めて、子どもたちに伝えたいことはたくさんあります。まず、じゃうぶな身体を作ってください。健康が一番！って、僕は思います。



くどう・きみやす 1963年愛知県生まれ。最優秀投手、ゴールドグラブ賞など獲得タイトル多数。類まれな成績が認められ、日本プロ野球名球会会員に。2007年、横浜ベイスターズ入団。

### なるほど！ 野球の歴史 in 日本

アメリカで誕生したといわれる野球。日本には、1872年、現在の東京大学につとめていたホーレス・ウィルソン教師によって伝えられました。その面白さは少しずつ広まっていき、1896年には、ついに初めての国際野球試合がおこなわれます。旧制第一高等学校と、横浜在住アメリカ人チームが対戦し、旧制第一高等学校が大勝。このとき、全国的に人気が高まったといわれています。その試合がおこなわれた場所こそ、じつは、今回のポスターの撮影場所でもある横浜スタジアム。昨シーズンまで、3404本(※)のホームランが生まれた場所。その歴史は、日本野球の発展の歴史にも重なっていたのです。

(※)プロ野球セリーグの公式戦での記録に基づきます。

### さらに、たとえばこんな値段 [114,500円~]

日本プロ野球OBクラブに依頼して、OB選手をひとり呼びたい場合は、このお値段！小・中学生だけでなく大人も対象となる野球指導やトレーニング指導の講師、さらには往年の名プレーヤーとの真剣勝負など、さまざまなイベントへの派遣を受け付けているそうです。ぜひ、みなさんのスペシャルチームとプロ野球OBチームで夢の対決を！

社団法人全国野球振興会(日本プロ野球OBクラブ) [www.obclub.or.jp](http://www.obclub.or.jp)

人生を楽しむときにも必要になるのが「おかね」。どれくらい働いて収入を得たり、貯めたりすると、あなたの夢はかなえられそうですか？ おかねのことも一緒に考えれば、きっと実現に近づきます！

### フレイ・フレイ・きみの夢！

横浜銀行では、毎夏「横浜銀行カップ 神奈川県学童軟式野球選手権大会」を開催。また、秋から冬にかけては、プロ野球のOB・現役選手に実技指導をお願いして少年野球教室(小学生対象)を主催し、野球が好きな子ども達を応援しています。さらに、将来の夢について考えるための小・中学生向けの職業学習用ウェブサイト「川崎市版あしたね」の支援をスタート！ここでは、お相撲さんやクラリネット奏者、警察官などさまざまな職業の人たちのインタビューを満載。全国版とのリンクもあり、これから内容もどんどん充実していく予定です。



川崎市版あしたね

職業イベントの照会先: 横浜銀行広報IR室  
Tel: 045-225-1111 (代表)

### おしえて! 夢みる値段

このコーナーでは、特集にまつわる「夢みる値段」を、ちょっと詳しくご紹介します！

## [28,000円~]

今回のポスターで取り上げているのは、横浜スタジアムを2時間貸し切って野球をするお値段！なお、夜間の場合は56,000円~。プロと同じ夢の舞台は、素晴らしい思い出になりそうです。

※お申し込みは、代表者が満16歳以上の横浜市内に在住、在勤、在学の団体が対象です。ロッカー・照明など利用の場合には、別途料金が必要です。また、運動会など各種イベントも別途料金で利用できます。詳しくは、横浜市環境創造局環境施設部 水・緑管理課 (Tel: 045-671-2642) <http://www.yokohama-stadium.co.jp/user/citizen.html>



### それゆけ! 撮影隊

セミが元気に鳴いている夏休み、集まってくれたのは小学2年生の4人組です。横浜市のこうたろう君、まいちゃん、ゆづきちゃん、そして大和市のかんた君。保育園からのなかよひで、撮影での息もピッタリでした！

表紙と店頭ポスターの撮影: 本城直季  
1978年生まれ。写真家。ミニチュアのように撮影する独自の手法で知られる。写真集「small planet」で第32回「木村伊兵衛写真賞」受賞。